
食肉科研/行政情報等発信サービス

No.347 2023/1/16

1 「食品安全総合情報システム」公表

1月12日、食品安全委員会が公表した標記システムに次の記事が掲載されている。

(1) 欧州疾病予防管理センター (ECDC) A型肝炎に関する2021年疫学報告書を公表。主な内容は以下のとおり。

1. 2021年、欧州連合/欧州経済領域 (EU/EEA) の30か国で3,864例のA型肝炎症例が報告された。
2. EU/EEAの届出率は人口10万人対0.9症例であった。EU/EEAの21か国は届出率が人口10万人対1症例を下回った。届出率が高かった国は、ブルガリア (人口10万人対10.5例)、リヒテンシュタイン (同5.1例) 及びルーマニア (同4.5例) であった。
3. 2021年は、2007年にEUレベルでのA型肝炎サーベイランスが開始されて以降、報告症例数及びEU/EEA届出率ともに最も低かった。これは、COVID-19パンデミックによる、顕著な海外渡航の減少、飲食店の休業や集会及び社会的交流の減少といった医薬品を用いない介入が、報告症例数に影響を及ぼしたことが原因である可能性が非常に高い。
4. 過去数年と同様、5歳から14歳までの小児が症例の大きな割合 (31%) を占め、届出率 (人口10万人対2.8例) も最も高かった。
5. 2021年は、6つの複数国にわたるA型肝炎クラスターがEpiPulse (訳注：感染症に関する欧州サーベイランスポータル) へ報告された。3つのクラスターはA型肝炎ウイルス遺伝子型亜型IAによるもので、生鮮及び/又は冷凍ベリー類の喫食に関連した可能性があった。それ以外のクラスターの感染源は特定されなかった。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05970470470>

(2) 欧州疾病予防管理センター (ECDC) カンピロバクター症に関する2021年疫学報告書を公表。主な内容は以下のとおり。

1. カンピロバクター症は欧州連合/欧州経済領域 (EU/EEA) において最も多く報告された胃腸疾患である。
2. 2021年はEU/EEAの30か国で129,960例のカンピロバクター症確定症例が報告された。リヒテンシュタインで初めて症例が報告された。
3. EU/EEA全体の届出率は人口10万人対44.5症例であった。
4. 同症の届出率は5歳未満の小児の年齢グループが最も高かった。
5. COVID-19パンデミック前の5年間では同症の届出率に大きな変動はなかった。2020年に主にパンデミックの影響により症例の顕著な減少が見られた後、2021年の

症例数は5.6%増加した。

6. カンピロバクター症には明確な季節性があり、夏季の数か月間に症例数の鋭いピークが見られ、また年初にも小さなピークが見られる。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05970370470>

(3) 欧州疾病予防管理センター (ECDC)、サルモネラ症に関する2021年疫学報告書を公表。主な内容は以下のとおり。

1. サルモネラ症は欧州連合/欧州経済領域 (EU/EEA) において2番目に多く報告された胃腸感染症であり、集団食中毒の重要な原因である。
2. 2021年は60,494例のサルモネラ症検査確定症例が報告され、うち73例が死亡している。
3. 同症のEU/EEAの届出率は人口10万人対16.6症例であった。
4. サルモネラ症の届出率はCOVID-19パンデミック前の5年間では大きな変動はなかった。2020年に主にパンデミックの影響により症例の顕著な減少が見られた後、2021年の症例数は14%増加した。
5. 報告された症例の割合は、0～4歳の幼児が人口10万人対93.1例で最も高く、成人(25～64歳)の11倍であった。
6. サルモネラ属菌の集団感染において卵及び卵製品が引き続き最もリスクの高い食品であるが、2021年に発生したいくつかの大規模な集団感染は、汚染された野菜、果物、種子類又はそれらによる製品に関連していた。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05970380470>

(4) 欧州疾病予防管理センター (ECDC)、志賀毒素産生性大腸菌 (STEC) 感染症に関する2021年疫学報告書を公表。主な内容は以下のとおり。

1. 2021年に欧州連合/欧州経済領域 (EU/EEA) の30か国から6,534例の志賀毒素産生性大腸菌 (STEC) の感染確定症例が報告された。
2. 全体の届出率は人口10万人対2.2症例であった。届出率が高かったのは、アイルランド、デンマーク、マルタ及びノルウェーであった。
3. 2020年に主にCOVID-19パンデミックの影響により届出率の顕著な低下が見られた後、2021年のEU/EEAの届出率はパンデミック以前のレベルまで増加した。
4. 確定症例の届出率が最も高かったのは、0～4歳児の年齢グループであった(男児では人口10万人対12.7例、女児では同10.8例)。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05970400470>

(5) 欧州疾病予防管理センター (ECDC)、エルシニア症に関する2021年疫学報告書を公表。主な内容は以下のとおり。

1. エルシニア症は欧州連合/欧州経済領域 (EU/EEA) において、カンピロバクター症及びサルモネラ症に次いで3番目に多く報告された胃腸感染症である。
2. 2021年にEU/EEAの28か国で6,876例のエルシニア症確定症例が報告された。
3. 全体的な届出率は人口10万人対1.9症例であり、2020年及びパンデミック以前の

数年間(2017年～2019年)と比べて11.8%の増加であった。

4. 届出率が高かったのは、デンマーク、フィンランド及びリトアニアであった。
5. 0～4歳児の年齢グループにおける届出率が最も高く、男児は人口10万人対9.4例、女児は同8.0例であった。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05970390470>

(6) 欧州疾病予防管理センター(ECDC)、リステリア症に関する2021年疫学報告書を公表。主な内容は以下のとおり。

1. 2021年は、欧州連合/欧州経済領域(EU/EEA)の30か国で2,268例のリステリア症確定症例が報告された。
2. EU/EEAの年齢標準化届出率は人口10万人対0.44症例であった。
3. 届出率が最も高かったのは64歳超の高齢者の年齢グループであった(人口10万人対1.7例)。
4. EU/EEAにおける年間のリステリア症確定症例報告数は安定している。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05970410470>

(7) 米国疾病管理予防センター(CDC)、テキサス州由来の生カキと関連した複数州にわたるノロウイルス集団感染について公表(初報)。概要は以下のとおり。

1. CDCは、米国食品医薬品庁(FDA)、テキサス州保健局、並びにその他の州及び地方の当局とともに、テキサス州Galveston湾TX 1採捕地域由来の生カキと関連した複数州にわたるノロウイルス集団感染について調査を行っている。
2. テキサス州保健局及びフロリダ州保健局は、テキサス州Galveston湾のTX 1地域から採捕された生カキの喫食に関連する疾病をFDAに通知した。2022年12月8日、テキサス州保健局は、テキサス州Galveston湾のTX 1採捕地域から2022年11月17日から12月7日までの期間に採捕された全てのカキのリコールを発表した。また両州の保健局は、州間貝類衛生会議(ISSC)にも情報提供し、同会議から他の加盟州に通知された。これにより、他の州は、州間貝類衛生会議協定に則したリコール対応を開始した。
3. 2022年12月15日現在、8州から211人のノロウイルス患者が報告されている。CDCは、当該集団感染における、より正確な患者数を特定するため、州及び地方の関係機関と協力しており、更なる情報が収集され次第、この数値を更新する予定である。
4. ノロウイルスは、米国における食中毒の主要な原因である。しかし、州、地方、及び地域の保健部門は、ノロウイルスの個々の症例について米国の監視システムへ報告することを求められていない。そのため、特に人々が診療所や病院に行かない場合、多数の症例について把握できていない可能性がある。毎年、米国内では約2,500件のノロウイルスの集団感染が報告されている。ノロウイルスの集団感染は年間を通して発生するが、11月から4月に最も多い。
5. 州及び地方の公衆衛生当局は、発症の4日前から前日までの間に喫食した食品について患者に聞き取り調査を行っている。聞き取り調査では、患者の多くが生カキを喫食したと報告した。

6. 州及び地方の当局は、患者が喫食した飲食店のカキの供給源に関する情報を収集した。FDAは、汚染された可能性がある生カキがテキサス州Galveston湾のTX 1地域で採捕されたことを確認した。FDA及び州当局は、生カキがどこに流通したかを特定し、それらが食料供給から除去されるように、追跡調査を実施している。

7. 当該調査は進行中である。CDCは更なる情報が収集され次第、公表する。

<https://www.fsc.go.jp/fsciis/foodSafetyMaterial/show/syu05970450104>